



がっこうとしょかん はくたの学校図書館だより



だいごう 第4号
れいわねんがつ 令和3年12月 / 発行

2021年も、モ〜ウすぐおわります。冬休みには、あたたかい家のなかでじっくり読書をするのもいいですね。いままで読んだことのない本にも、トライしてみましょう！

冬におすすめの本



『ラビーニアとおかしな魔法の話』 ビアンカ・ピッツォルノ / 作、小峰書店
雪が降るクリスマスイブの夜、マッチ売りの少女・ラビーニアは、町でマッチを売って
いました。でも、だれも買ってくれません。そこに妖精が現れ、ラビーニアは指輪をもらい
ます。それは、なんでもウ〇チに変えてしまう魔法の指輪でした。(安田小 板持)



『クラバート』 プロイスラー / 作、中村浩三 / 訳、偕成社
浮浪生活をしている少年クラバートは、夢で不思議な呼び声を聞きます。声にした
がい、コーゼル湿地の水車場に向かったクラバートは、そこで見習いとして働くことに。
しかしその水車場には、恐ろしい秘密があったのです。(伯太中 小林)



『これがきっかけ! ノーベル賞ずかん』 高柳雄一 / 監修、ほるぷ出版
毎年12月10日にノーベル賞の授賞式が行われます。新聞やテレビで目にもすることもあ
るでしょう。この本はノーベル賞の受賞者と、受賞のきっかけになったエピソードを紹介して
います。きっかけは身近で、意外なことだったようです。毎日の生活の中でのちょっとしたこと
がきっかけで、あなたも未来のノーベル賞受賞者になれるかも!? (赤屋小 千代田)



『いのちかがやけ! タイガとココア』 あんずゆき / 文、文溪堂
来年の干支にちなみ、本当にあったトラのお話。釧路市動物園で生まれたアムール
トラのきょうだいタイガとココアは、足に障がいをもっていました。飼育員たちの不安を
よそに、おたがいに寄りそい、たくましく育っていきます。そして…。(母里小 青山)



『366日じてん きょうはなんの記念日?』 平野恵理子 / 作、偕成社
自分の生まれた日って、どんな日だったのか気になりませんか?
家族や友達の誕生日をこの本で調べてみると意外なことがわかるかも?
ちなみに私は、ピカソと同じ誕生日でした! 絵の才能は! ありません…。
(井尻小 久保井)

としょかん み けしき 図書館から見える景色クイズ!



みなさんの学校の図書館からみえる景色を写真にとりました。どの景色がどの学校の図書館からみえる景色でしょう? 線をつないでみましょう。ヒントも参考してみてくださいね!



母里小学校

- 【ヒント】
- 校庭と山があります。
 - 校庭の左側は道路です。
 - この窓の反対側にも窓があります。



安田小学校

- 【ヒント】
- 視界のほとんどは〇〇〇学校です。
 - 左側は伯太体育館。
 - 米作りの学習をする田んぼも見えます。



伯太中学校

- 【ヒント】
- 大きなシンボルツリーが見えます。
 - 春はつつじがきれいです。
 - 反対側には池があります。



井尻小学校

- 【ヒント】
- 前庭と山が見えます。
 - 左にはこども園があります。
 - 大きなヒマラヤ杉の木が2本見えます。



赤屋小学校

- 【ヒント】
- 晴れると大山が見えます。
 - 北側の窓からは風車も見えます。
 - 鳥が時々入って大騒ぎに。